

以下、「文献について」「本文の引用の仕方について」は参考資料であり、センター紀要の書式を資料どおりに統一するものではありません。所属する学会等がありましたら、当該学会の投稿規程等に準じて記載いただければ結構です。

なお、以下の資料は、『『特殊教育学研究』和文論文執筆の手引き』日本特殊教育学会 より抜粋しています。

文献について（参考資料）

1. 引用文献

本文において引用されたすべての文献を、著者名のアルファベット順に論文の後に「引用文献」として一括して記載する。同一著者の複数の文献は発行年順とする。同一著者による同一年の文献が含まれる場合は、発行年の後に小文字のアルファベットを付けて区別する。

2. 参考文献

本文中に引用はしていないが論文内容と密接に関連し、特に紹介すべきであると考えられる文献については、「参考文献」として、「引用文献」の後に同様に一括して記載する。著書については、頁数の記入はなくてもよい。

3. 引用文献および参考文献の書式

- (1) 雑誌：著者名（西暦年）題目．雑誌名，巻数(必要な場合は号数)，開始頁－終了頁．
- (2) 著書：著者名（西暦年）書名．出版社，出版地，開始頁－終了頁(必要な場合)．
- (3) 分担執筆：著者名（西暦年）章題．編者名（編），書名．出版社，出版地，開始頁－終了頁．
- (4) 訳書：原著者名（西暦年）原書名．出版社，出版地，訳者名（西暦年）書名．出版社，開始頁－終了頁（必要な場合）．

※ 欧文の書名（原書名）および雑誌名は斜体（イタリック）とする。

※ 和文著書の場合、出版地は省略する。

4. インターネット上の情報の引用：インターネット上の情報の引用はできるだけ避け、同一の資料が紙媒体でも存在する場合は、紙媒体のものを出典とすることを原則とする。ただし、インターネット上の情報を引用する場合には、その出典を明記するとともに、Web 上からの削除が予想されるので、必ずコピーをとって保管し、編集委員会からの請求があった場合、速やかに提出できるようにする。

書式：著者名（西暦年）資料題名．サイト名，アップロード日，URL（資料にアクセスした日）．

<p>例：</p> <p>山田太郎・田中花子（2001a）知的障害幼児の統合保育に関する調査研究. ○○支援研究, 3, 26 - 32.</p> <p>山田太郎・田中花子（2001b）知的障害幼児の統合保育に関する事例研究. ○○支援研究, 3, 100-108.</p> <p>Cooper, S. A., Bucy, A., & John, R. (2001) Early onset of autism. <i>International Journal of ***** Education</i>, 56, 692-700.</p> <p>田中花子（1975）○○障害幼児の研究. ○○文化科学社.</p> <p>Wilder, L. (1991) <i>Neuroanatomy of autism</i>. The ***** Press, London.</p> <p>田中花子（1975）○○障害幼児. 山田太郎（編）, 障害○○の心理学. ○○文化科学社, 11 - 49.</p> <p>Miller, S. R., Miller, C. S., Dolan, J., & Anderson, J. A. (1999) Down syndrome: Cognition, behavior, and genetics. In A. M. Kohlenberg & D. Atkinson (Eds.), <i>Handbook of ***** disorders</i>. ***** Press, New York, 61 - 115.</p> <p>Knight, L. & James, W. (1999) <i>Educating and understanding ***** syndrome</i>. ***** Press, London. 田中花子・山田太郎監訳（2002）○○症候群への発達支援. 山花学術出版社, 52 - 65.</p> <p>日本特殊教育学会（2006）倫理綱領. 日本特殊教育学会, 2006年9月6日, http://www.jase.jp/rinri.html（2010年10月9日閲覧）.</p> <p>The Japanese Association of Special Education (2010) Organization. The Japanese Association of Special Education, January 28, 2010, http://www.jase.jp/eng/organization.html (Retrieved October 9, 2010).</p>	<p>→（１）雑誌（和）：</p> <p>同一著者・年はa,bで区別。</p> <p>→（１）雑誌（欧）：</p> <p>著者3名以上では&の前に(,)を必ず入れる。雑誌名は斜体。</p> <p>→（２）著書（和）：</p> <p>→（２）著書（欧）：書名は斜体。</p> <p>→（３）分担執筆（和）</p> <p>→（３）分担執筆（欧）：</p> <p>編者1名:(Ed.), 編者複数:(Eds.)。3名以上は&の前に(,)を挿入。書名は斜体。</p> <p>→（４）訳書：</p> <p>原書名は斜体。</p> <p>→（５）インターネットからの引用：</p> <p>アップデート日の年を発行年とみなす。</p>
--	--

本文中の引用の仕方について（参考資料）

著者名の省略は避け、全員の名前を明記する。ただし、著者が3名以上である場合は初出時のみ全員の名前を明記し、その後は「(筆頭著者名)ら」(欧文の場合は「(筆頭著者名) et al.」)と記す。著者が複数の場合、著者名の連記は以下の例に従うこととする。

(1) 文中の場合

例：◎山田・田中(1981)および佐藤(1980)は・・・

◎佐藤・山田・中川・大川(1963)は……。・・・佐藤ら(1963)・・・。

◎Sturges and Martin(1974)は……。(&記号は用いない。著者が2名の場合、andの前に(,)を入れない。

◎Wallach, Newman, and Rosenzweig(1974)は……。・・・Wallach et al.(1974)によると……。 (著者が3名以上の場合、andの前に(,)を入れる)

(2) 文末などの()内の場合

例：◎・・・と指摘されている(佐藤, 1980; 山田・田中, 1981)。

◎・・・と指摘されている(Wallach, Newman, & Rosenzweig, 1974; ...)。

※ &の記号を用いる。

※ 引用文献が複数の場合は半角セミコロン (;) で連ねる。

※ カッコ内の引用順は、論文末にあげる引用文献の順に準ずる。

(3) その他 文献研究等ではつぎの表記とする。

例：◎・・・と指摘されているが(Martens [1965] 56)、これを否定する見解もある(Farrell [1970] 121)。